

## 新健康フロンティア戦略における女性の健康づくりの取組

### 新健康フロンティア戦略～健康国家への挑戦～（抜粋）

（平成19年4月18日 新健康フロンティア戦略賢人会議）

#### Ⅲ. 戦略の具体的内容

##### 第1部. 国民自らがそれぞれの立場に応じて行う健康対策

##### 2. 女性を応援する健康プログラム（女性の健康力）

女性の明るさは社会の明るさであり、女性の活躍は社会の活力である。女性が健康で、能力を発揮できる社会こそ、美しい国にふさわしい。

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを応援するために、生活の場（家庭、地域、職域、学校）を通じて、女性の様々な健康問題を社会全体で総合的に支援することが必要である。

##### （1）女性の健康的な『自分』づくりの支援

###### ①思春期の女性に対する支援＝「自分のカラダを知ろうキャンペーン」（仮）

- ・健康を守る食に関する知識の普及啓発・食育の推進
- ・過度なダイエットによる健康リスクに関する意識啓発
- ・骨粗しょう症及びその予防に関する知識の普及
- ・性感染症や人工妊娠中絶の健康リスクに関する教育及び普及啓発
- ・学校における歯・口の健康づくりの強化
- ・健康増進のための運動に関する知識の普及啓発
- ・地域保健と連携した、学校での健康教育の推進
- ・科学的根拠（エビデンス）に基づいた健康情報の収集・分析・提供
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用に関する教育及び意識啓発

###### ②職場内における働く女性の健康への適切な対応の推進

- ・妊娠中及び出産後の健康管理に関する措置の普及・定着
- ・職場内における健康づくりを担う人材の育成

（産業医や保健師等の専門職種に対する女性の健康問題に関する研修や講習

など)

- ③女性の健康問題のニーズに応じた個別の予防プログラム（運動・食事）を受けられる仕組みづくり
  - ・生活習慣病等の戦略的介入研究や介護予防プログラム（転倒骨折予防など）の開発研究の推進
- ④女性の健康週間の創設による国民運動の展開

## (2) 「女性のニーズに合った医療」の推進

- ①「女性のニーズに合った医療」の提供
  - ・女性の医療専門職が働きやすい環境の整備
  - ・国立成育医療センターを中核とした「女性のニーズに合った医療」に関する情報提供
- ②身近な場所で、気軽に情報入手や相談ができる体制の整備
  - ・女性の健康を支える地域のボランティア活動に対する支援
- ③性差を考慮した医療に役立つ研究の推進
  - ・自己免疫疾患等に関する研究の推進
  - ・「女性のニーズに合った医療」に関する研究の推進

## (3) 「女性のがん」への挑戦

- ①乳がん対策
  - ・乳がんや乳がん検診についての普及啓発（女性の健康週間に合わせるなど効果的なキャンペーンの実施）
  - ・乳がん検診の有効性（マンモグラフィと超音波の併用の有効性）に関する研究の推進
- ②子宮がん対策
  - ・「20歳からの子宮がん検診」などの普及（女性の健康週間に合わせるなど効果的なキャンペーンの実施）
  - ・予防のための意識啓発の推進
- ③安心して利用しやすい検診体制
  - ・専門医や専門技師の育成と養成、休日夜間での検診の実施など受診機会の拡充
  - ・がん検診の精度管理の充実

- ・がん検診を実施している市町村等による適切なPR
- ・ライフイベント（家族の誕生日など）と結びつけた受診の勧奨や、その他の効果的な受診促進策の推進

④がん患者に対する支援

- ・長期にわたるがん患者等（特に乳がん患者など）に対する相談及び支援

⑤がんの研究等

- ・がん登録制度の普及
- ・がん治療の充実

# 新健康フロンティア戦略(概要)

内閣官房長官主宰の「新健康フロンティア戦略賢人会議」において「新健康フロンティア戦略」が平成19年4月18日に取りまとまった。

国民の健康寿命の延伸に向け、予防を重視した健康づくりを国民運動として展開するとともに、家族の役割の見直し、地域コミュニティの強化、技術のイノベーションを通じて、病気を患った人、障害のある人、年を取った人も持っている能力をフルに活用して充実した人生を送ることができるよう支援し、健康国家の創設に向けて挑戦していく(実施期間:平成19(2007)年度~28(2016)年度)



- 戦略の推進に向けた国民運動の実施
  - ・インターネットその他の媒体を活用して積極的に広報
  - ・「健康大使」の任命等
- 今後、実施計画(アクションプラン)を策定し、具体的な施策の実施を図る。
- 戦略の進捗状況をわかりやすく表現するため、指標を作成。

## 【戦略のポイント】

### (1) 国民自らがそれぞれの立場に応じて行う健康対策

#### ①子どもを守り育てる健康対策 **〔子どもの健康力〕**

- ・子育て期の医師の就労環境の整備等、産科医療・小児医療の確保
- ・発達障害児等を支援するための妊娠期から子育て、教育、就労に至る継続的な支援の推進、発達障害児等に関する国民全体の理解の促進 等

#### ②女性を応援する健康プログラム **〔女性の健康力〕**

- ・過度なダイエットによる健康リスクに関する意識啓発
- ・休日夜間での健診の実施による受診機会の拡充等「女性のがん」への挑戦 等

#### ③メタボリックシンドローム対策の一層の推進 **〔メタボリックシンドローム克服力〕**

- ・「食事バランスガイド」の普及・啓発、健康関連産業の育成、個人の特徴に応じた治療（テーラーメイド治療）の研究開発と普及等メタボリックシンドローム対策・糖尿病予防の重点的推進 等

#### ④がん対策の一層の推進 **〔がん克服力〕**

- ・遺伝子技術等を用いた早期診断技術の研究開発などがんの早期発見の推進
- ・手術中心の治療から集学的治療への転換の推進など、がん医療の提供体制の充実 等

#### ⑤こころの健康づくり **〔こころの健康力〕**

- ・発症前後のカウンセリングを含めた支援体制の構築等、認知症対策の推進
- ・早期診断技術の研究開発等、うつ対策の一層の推進 等

#### ⑥介護予防対策の一層の推進 **〔介護予防力〕**

- ・介護予防に関する国民意識の向上、効果的な介護予防サービスの提供
- ・骨・関節・脊椎の痛みによる身体活動低下、閉じこもりの防止 等

#### ⑦歯の健康づくり **〔歯の健康力〕**

- ・個人が行うセルフケアの推進及び歯科医師によるプロフェッショナルケアの推奨による 8020 運動の推進 等

#### ⑧食育の推進 **〔食の選択力〕**

- ・家族で食卓を囲んで一緒に食べる意義を見直す国民運動の展開、家庭、地域、学校、保育所等の連携の推進等、健やかな生活習慣づくりのための子どもの発達段階に応じた支援の推進 等
- ・健康を守る食に関する知識の普及・啓発等、思春期の女性に対する食育 等

#### ⑨運動・スポーツの振興 **〔スポーツ力〕**

- ・外遊びやスポーツを通じた子どもの体力の向上
- ・総合型地域スポーツクラブの全国展開等、一生涯にわたる豊かな「スポーツライフ」の実現 等

### (2) 新健康フロンティア戦略を支援する家庭・地域・技術・産業

#### ①健康を家庭・地域全体で支援 **〔家庭・地域力〕**

- ・ワークライフバランスの推進等、子どもがすくすく育つ家庭・地域づくり
- ・身近な場所で、気軽に情報入手や相談ができる体制の整備 等

#### ②人間の活動領域の拡張に向けた取り組み **〔人間活動領域拡張力〕**

- ・福祉機器など障害者の社会参加を容易にする技術等、生活拡張技術の開発
- ・カプセル内視鏡等、先進的予防・診断・治療技術の開発 等

#### ③医療・福祉技術のイノベーション **〔研究開発力〕**

- ・医薬等ベンチャー・基盤産業支援対策、実用化における臨床現場と産学の融合推進
- ・医薬品・医療機器の承認審査の迅速化等、実用化における製品・技術評価の迅速化 等

# 新健康フロンティア戦略賢人会議有識者メンバー

座長	黒川 清	内閣特別顧問
	春日 雅人	日本糖尿病学会理事長・神戸 大学医学部附属病院長
	高橋はるみ	北海道知事
	張 富士夫	トヨタ自動車株式会社取締役 会長
	土屋 了介	国立がんセンター中央病院 院長
	土井美和子	(株)東芝 研究開発センター 技監
	服部 幸應	服部栄養専門学校校長・医学 博士
	増田 明美	スポーツジャーナリスト・元マ ラソン選手